



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 事務部長就任のご挨拶 2
- 胃粘膜下腫瘍ってなに? 3
- はじめまして 4~6
- “皆さん、がんの放射線治療をどこまで知っていますか” 7
- 「香川で日本東洋医学会学術総会が開催されます」 8~11
- 山の話 (43) 12

● 医事課より患者さまへお知らせ
 平成28年1月より、毎月初めての受診日には、総合受付窓口にて保険証、現住所、ご連絡先等の確認をさせていただくことといたしました。また、保険証等変更があればその都度お申し出て下さいますようお願いいたします。

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2016年5月
281号



就任のご挨拶

事務部長 高橋 正昭



この度、4月1日付けで事務部長に就任致しました高橋と申します。よろしくお願いたします。就任にあたり大変光栄なことであると同時にその重責も感じている次第であります。

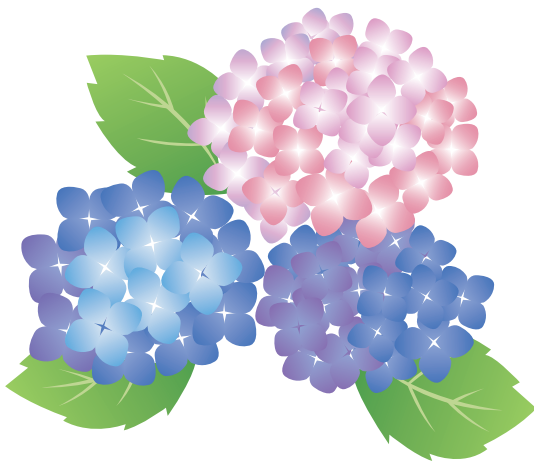
私は、平成26年2月1日より総合病院回生病院に事務次長として着任、平成27年4月1日より副事務部長を経て、この度、事務部長に就任させて頂くこととなりました。

医療・介護を取巻く環境は、昨今の国の施策において、2025年を展望に2018年度（平成30年度）に第7次医療計画、第7期介護保険事業計画（診療報酬・介護報酬同時改定）、第3期医療費適正化計画の同時開始となります。それに向けた社会保障制度改革の一環として、医療介護総合確保推進法施行に伴う地域医療構想の策定が開始されます。又、医療法改正に伴う病床機能報告制度も既に開始されている所であります。

2016年度（平成28年度）の診療報酬改定は、2018年度（平成30年度）に予定されている同時改定（診療報酬・介護報酬）な

ど2025年を見据えた超高齢社会における医療政策の流れの一環としての位置づけになっております。「治す医療」から「治し、支える医療」（地域医療システム）への転換が求められ、医療機関による自主的な機能分化・連携の推進が重要となって参ります。

当院と致しましても「目指すべき医療を実現するため」、パラダイムシフトを図り、イノベーションし医療機能の分化・連携等を進め、今後も総合病院回生病院が地域に根差した医療を行い、さらに発展する様、微力ではございますが、尽力していきたいと思っております。今後とも、皆様方のご協力を重ねてお願い申し上げます。



胃粘膜下腫瘍ってなに？

病院長 鎌野 周平

健診で内視鏡検査を受けて、胃粘膜下腫瘍と診断された方は意外と多いのではないかと思います。一般の方には、「胃粘膜下腫瘍」という言葉は聞きなれず理解し難いと思います。

胃ポリープと外見は似ています。しかし胃ポリープは粘膜にできた病変であるのに対して、胃粘膜下腫瘍は粘膜の下側の組織にできる病変です。ですから通常の鉗子生検を行っても病理組織診断ができません。胃粘膜下腫瘍には、病理学的に GIST・平滑筋腫・平滑筋肉腫等があり、総称して間葉系腫瘍と呼ばれます。消化管間葉系腫瘍の大部分は GIST です。



I. はじめに

1980年頃までは、胃の間葉系腫瘍は良性のものは平滑筋腫、悪性のものは平滑筋肉腫とされてきました。1983年 Mazur らが電顕的ならびに免疫組織化学的観察に基づき、筋原性と考えられてきた間葉系腫瘍の中に Schwann 細胞に分化する腫瘍の存在を指摘し、神経原性腫瘍が含まれることが明らかになり、一括して GIST (広義) と称しました。1998 Rosai の分類で言う uncommitted type のほとんどに c-kit 遺伝子産物 (KIT) が発現していることが分かり、消化管壁の筋間神経叢に局在する KIT 陽性のカハール (Cajal) の介在細胞に由来と考えられるようになりました。また GIST に高頻度に c-kit 遺伝子の変異も証明され、GIST の診断ばかりでなく治療にも関係する重要事項となりました。

II. 胃粘膜下腫瘍の取り扱い

胃粘膜腫瘍は鉗子生検で病理診断を得ることが困難であるため、まずは腫瘍径に従って診療方針を決めなければなりません。

1. 直径2cm未満: 悪性所見がなければ経過観察。
2. 直径2cm以上5cm未満: FNAB 等で GIST と診断できれば手術。
3. 直径5cm以上: 手術の絶対的適応。

胃 GIST は固有筋層に接していることが多く、粘膜筋板や粘膜下層を首座とする胃カルチノイドと比べ内視鏡的切除が困難です。このため、胃 GIST の治療の第一選択としては外科的切除が行われますが、内視鏡的治療を行う場合は細心の注意を要します。



はじめまして



副院長 消化器科

杵川 文彦

このたび当院へ着任いたしました杵川文彦です。

当院では消化器内科、特に内視鏡診療に従事させていただく予定です。

内視鏡関連の検査や処置については可能な限りご希望に沿うように努めたいと思いますので、必要があれば御連絡ください。しかし、何分かなり年を取ってからの異動のため、新しい環境に慣れるまで時間がかかると思いますが、御迷惑をおかけすることも多々あると思います。御寛恕のほどよろしくお願い致します。微力ながら精一杯努力していきたいと考えておりますので、格別のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



初期研修医

上乃 誠

平成28年4月から回生病院で勤務させていただくことになりました、研修医の上乃誠と申します。

愛媛大学医学部を卒業し、地元の坂出で、医師としてスタートできることを大変嬉しく思います。

これからご迷惑をおかけすると思いますが、1つでも多くの経験を積み、総合的な視点を持って働ける医師になりたいと思っております。医師としても社会人としても未熟な私ですが、責任と情熱を持って取り組み皆様に信頼されるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



初期研修医

安田 裕志

平成28年4月より回生病院で勤務させていただくことになりました、研修医の安田裕志と申します。東京都出身、また大学は新潟大

学を卒業したのですが、昨年度より縁あって香川県のほつに移住する運びとなりました。

知識、技術共に至らない点は多々あるとは思いますが、皆さまに信頼される医師を目指しまして、日々知識、技術の研鑽に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護師

多田 羅 音々

はじめまして！4月から回生病院で勤務させて頂きます、看護師の多田羅音々と申します。

看護師という昔からの夢が叶いとてもうれしく思っています。私は、普段から笑顔でいることを心がけるようにしています。そのため、患者様やその家族の方々に信頼していただけるような笑顔の絶えない看護師になりたいと思います。また、新人看護師として学ぶ姿勢を忘れることなく適切な知識、技術をもつてすべての方に満足していただけるような個別性のある看護を提供していきたいと考えています。

まだまだ未熟者ではありますが、素直な心を大切にし努力してまいりたいと思います。みなさまどうぞよろしくお願い致します。



看護師

川口 アスラ

はじめまして。この度4月より回生病院で勤務させていただくことになりました。看護師の川口アスラと申します。学生の頃、様々な病院で臨地実習をさせていただいた中で、多くの経験や学びのあったこの病院で働くことができることを嬉しく思っております。学生時代に学んできたこと、これから学んでいくことをしっかりと取り入れて仕事ができるよう頑張りたいと思います。

看護師としてこれから働いていくにあたり、私は患者さんとの信頼関係をしっかりと築いていきたいと思えます。そして、一人ひとりに寄り添った看護を提供することのできる看護師になれるよう、日々努力していきたいです。まだまだ未熟者ではありますが、皆さんどうぞよろしくお願ひします。



薬剤師

竹内 夏輝

はじめまして、今春から回生病院で働かせて頂くことになりました。薬剤師の竹内夏輝です。私は幅広い知識を身につけ、皆様の心の拠り所になれるような薬剤師を目指しております。患者様はもちろん、様々なコミュニケーションの方達とも円滑なコミュニケーションを図っていききたいと思えます。そしてより良い医療を提供できるよう務めてまいります。まだまだ若輩者ではありますが、皆様のご期待に添えるように入職後も日々自己研鑽に励みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



診療放射線技師

富山 博貴

はじめまして。4月より回生病院で勤務させていただきます。4月より回生病院で勤務させていただきます。出身大学は徳島文理大学で、私は一期生で技師の富山博貴と申します。

出身大学は徳島文理大学で、私は一期生で

あり先輩もおらず、全てが初めてだったため自分たちで情報を共有するなど協力して大学生活を送ってきました。これからは、回生病院のスタッフの一員として情報を共有することを大切に、患者様一人一人にあった適切な検査や治療を提供できるように技術や知識、接遇を磨き上げていきたいと思えます。



言語聴覚士

中川 小耶加

はじめまして、今年4月より回生病院で勤務させていただきますことになりました。言語聴覚士の中川小耶加と申します。

以前、父が病気を患い、言語聴覚士のリハビリをつけるようになったことがきっかけでこの職業に興味をもつようになりました。日常生活で「話す」「食べる」ことは欠かせないことであり、父のように困っている人の手助

けをしたいと思い勉学や実習に励んできました。そして、この度言語聴覚士として働くことができるようになりました。

まだ、入職したばかりで戸惑うことが多く、専門職としての誇りを持ち自分自身成長し、一日でも早く患者様やご家族の方々に信頼されるような言語聴覚士になれるよう一生懸命頑張ります。皆様、どうぞよろしくお願い致します。



臨床工学技士

楠本 航輝

みなさんこんにちは。本年4月より回生病院で勤務させて頂くことになりました、臨床工学技士の楠本航輝と申します。

私が臨床工学技士を志したのは、得意な理数系、工学系の分野を活かして、人の役に立っている仕事がしたい、という思いからでした。臨床工学技士は、医療機器の専門家であると考えています。患者様に安全な医療を提供するとともに、医師、看護師や各種の医療技術者の方にも医療機器を安全にご使用頂けるように日々の保守点検をしっかりと行っていき

いです。また、地元である香川県において、地域の中核病院としての役割を担っている回生病院で働けることを嬉しく思っています。

これからは新社会人として、責任ある行動をとり、人から信頼される臨床工学技士を目指して一生懸命頑張りますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。



社会福祉士

楠本 結衣

はじめまして。このたび、社会福祉士として回生病院で勤務させて頂いたことになりました楠本結衣と申します。

岡山県の川崎医療福祉大学出身で、毎朝坂出駅からマリノライナーに乗車し、通学しておりました。学生時代は、坂出市内の福祉施設でアルバイトをさせていただいたり、イベントに参加させていただいたり、坂出市とは何かとご縁が多くありました。今回さまざまな体験を通して、私自身を成長させてくれたこの坂出の地、さらに地域に根差した回生病院の一員として働けることを大変うれしく思っています。来院される患者さま、ご家族

さまの声に耳を傾け、多職種と協働しながら、今後の生活のサポートができるように日々精進してまいります。

まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、相手の立場に立って物事を考えることを心がけていきますので、皆さまどうぞよろしくお願い致します。

平成28年度入社式



“皆さん、がんの放射線治療をどこまで知っていますか”

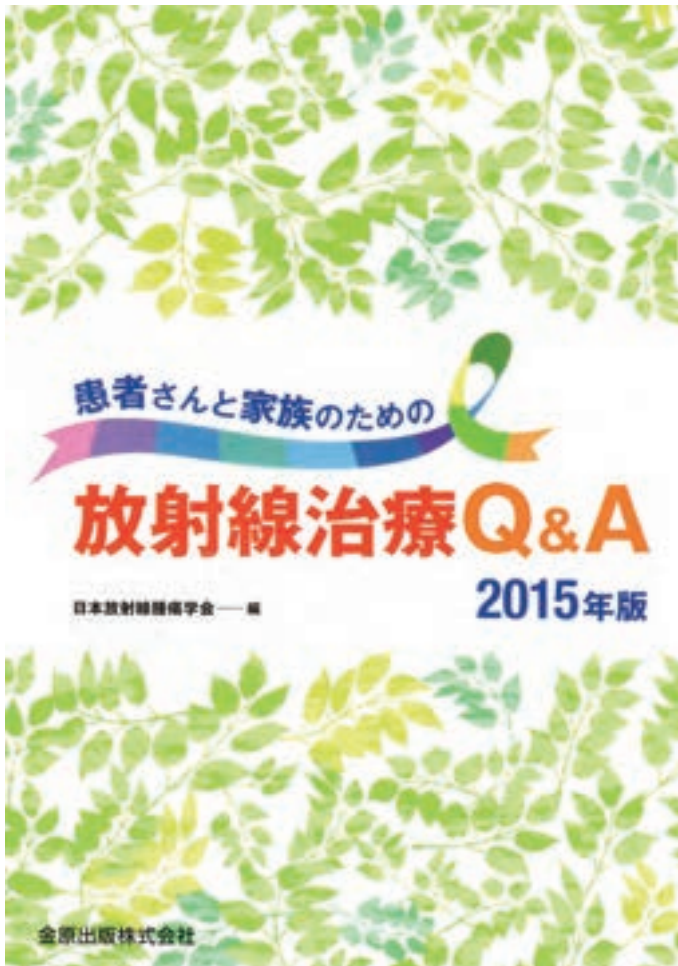
放射線治療センター 竹川 佳宏

昨年、「患者さんと家族のための放射線治療 Q & A 2015 年版」が出版されました。放射線治療に関する図書は数多く出版されていますが、意外と正確に伝わっていないために、偏見をお持ちの方が多く居られます。正確な最新の知識を必要とされる方々には是非この一冊をお勧めいたします。

以前から日本放射線腫瘍学会（JASTRO）ホームページ（<http://jastro.or.jp/>）に設けられている患者さまのための Q & A コーナーが好評であったため、新たな質問を追加し、日本の放射線治療の専門家が集まって、患者さまや家族の方々に分かり易く、しかもどの本よりも正確に編集された一冊です。

がんを切らずに治す放射線治療の良さをご存じない方々に、安心、納得して放射線治療を受けられるように、問いに答える形式（Q & A）で分かりやすく解説されています。闘病中の実生活におけるガイドブックの役割も果たします。

NPO 法人キャンサーネットジャパンからも推奨を受けました。本書が、がんと闘っておられる皆様方のお役に立つことを期待しております。



「香川で日本東洋医学会学術総会が開催されます」 第3報

第67回日本東洋医学会学術総会

期間：2016年6月3日（金）～5日（日）

場所：高松市のサンポートホール高松、かがわ国際会議場、JR ホテルクレメント高松
プログラムの詳しい概要をお知らせします。

会頭講演

『健康寿命の伸延と病的老化阻止に有効な漢方医学 - 実験的研究を中心に -』

座長：佐藤 弘（日本東洋医学会会長、新潟医療福祉大学）

演者：清水 寛（医療法人東洋病院 理事長 / 徳島大学医学部臨床教授）

特別講演 1

『東洋医学と無機医薬品～ヒ素のインパクト』

座長：竹川佳宏（第67回学術総会副会頭、回生病院 / 徳島大学名誉教授）

演者：桜井 弘（京都薬科大学 名誉教授）

特別講演 2

『21世紀の漢方医学：漢方医学における「創薬」を目指す』

座長：金子幸夫（次期 第68回学術総会会頭、金子医院）

演者：佐藤祐造（愛知みずほ大学大学院人間科学研究科）

特別講演 3

『大塚敬節先生に学ぶ』

座長：清水 寛（第67回学術総会会頭、東洋病院 / 徳島大学医学部臨床教授）

演者：松田邦夫（松田医院 院長）

招待講演 1

『高齢化社会とオバマ大統領「PRECISION MEDICINE INITIATIVE（個別化医療イニシアチブ）」』

座長：佐藤 弘（日本東洋医学会会長、新潟医療福祉大学）

演者：中村祐輔（シカゴ大学医学部 内科 / 外科 / 個別化医療センター）

招待講演 2

『安心をあたえる』

座長：松田和也（第67回学術総会実行委員長、松田内科医院）

演者：榎原禅澄（総本山善通寺第五十七世法主 真言宗善通寺派 管長）

招待講演 3

『Education and practice of Traditional Chinese Medicine in Europe』

座長：安井廣迪（安井医院）

演者：CARL-HERMANN HEMPEN（ミュンヘン工科大学）

緊急企画：

『新しい専門医制度の現状と展開』

座長：福澤素子（表参道福澤クリニック）

演者：千田彰一（徳島文理大学 保健福祉学部）

シンポジウム 1 【がんと漢方】

座長：星野恵津夫（がん研有明病院 漢方サポート科）

島田光生（徳島大学医歯薬学研究部 消化器・移植外科学）

演者：斎木育夫（富山大学和漢医療学総合研究所 病態生化学分野）

西内宗将（医療法人社団光彩会太田中央医院 内科）

吉川幸造（徳島大学医歯薬学研究部 消化器・移植外科）

上園保仁（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野）

元雄良治（金沢医科大学病院 集学的がん治療センター）

星野恵津夫（がん研有明病院 漢方サポート科）

シンポジウム 2 【女性の健康と漢方】

座長：福澤素子（表参道福澤クリニック）

塩田敦子（香川県立保健医療大学 看護学科）

演者：塩田敦子（香川県立保健医療大学 看護学科）

岡 留美子（岡クリニック）

松元かおり（高知大学医学部附属病院 総合診療部）

巽 欣子（医療法人三谷ファミリークリニック）

シンポジウム3 [伝統医学 未知の領域]

座長：上馬場和夫（帝京平成大学 ヒューマンケア学部）
 広瀬脩二（千田診療所）
 演者：宇土 博（友和クリニック）
 広瀬脩二（千田診療所）
 田端 瞳（不知火病院 ストレスケア病棟）
 小川 康（森のくすり塾）

シンポジウム4 [探訪、古今、未来の薬草園]

座長：池上文雄（千葉大学環境健康フィールド科学センター）
 橋本京子（大阪大学総合学術博物館 伝統医薬解析学分野）
 演者：水上 元（高知県立牧野植物園）
 柏田良樹（徳島大学薬学部）
 天倉吉章（松山大学薬学部 医療薬学科 生薬学研究室）
 渡辺 均（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

シンポジウム5 [傷寒論再々考]

座長：三谷和男（医療法人三谷ファミリークリニック）
 西本 隆（医療法人社団岐黄会西本クリニック）
 演者：三谷和男（医療法人三谷ファミリークリニック）
 西本 隆（医療法人社団岐黄会西本クリニック）
 田川直洋（一般財団法人高雄病院 漢方内科）
 角藤 裕（愛媛県立中央病院 漢方内科）
 津田篤太郎（聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター）

シンポジウム6 [精神科・心療内科領域で生かされる漢方]

座長：田中邦雄（明治国際医療大学附属統合医療センター）
 山田和男（東京女子医科大学東医療センター 精神科）
 演者：恵紙英昭（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター）
 田 亮介（医療法人財団青溪会駒木野病院）
 井口博登（澤記念会神経科浜松病院）
 西田慎二（日本赤十字社和歌山医療センター 心療内科部）
 奥平智之（東京女子医科大学 東洋医学研究所）

シンポジウム7 [鍼灸の復権]

座長：山田喜吉（山田鍼灸院）
 山岡傳一郎（愛媛県立中央病院 漢方内科）
 演者：村井 和（和クリニック）
 山下 仁（森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科）
 川嶋 明（東京有明医療大学保健医療学部 鍼灸学科）
 若山育郎（関西医療大学保健医療学部）

シンポジウム8 [難病難治性疾患の病因病機を探る]

座長：織部和宏（織部内科クリニック）
 井口敬一（いぐちクリニック）
 演者：新富義侯（三慶医院）
 井口敬一（いぐちクリニック）
 中 圭介（社会医療法人岡村一心堂病院 内科）
 織部和宏（織部内科クリニック）

ワークショップ1 [漢方薬をサイエンスする]

座長：井齋偉矢（静仁会静内病院）、竹川佳宏（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院）
 演者：井齋偉矢（静仁会静内病院）
 堀江一郎（東京理科大学薬学部 応用薬理学研究室）
 鍋島茂樹（福岡大学病院 総合診療部）
 西田欣広（大分大学医学部 産科婦人科学講座）
 星野朝文（国立病院機構霞ヶ浦医療センター 耳鼻咽喉科）
 光畑裕正（順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座）

ワークショップ2 [四国が生んだ漢方医家]

座長：並木隆雄（千葉大学医学部附属病院 和漢診療科）、松岡尚則（医療法人弘仁会岡林病院）
 演者：鍋谷欣市（昌平クリニック）
 松岡尚則（医療法人弘仁会岡林病院）
 並木隆雄（千葉大学医学部附属病院 和漢診療科）
 秋葉哲生（あきば伝統医学クリニック）
 吉本 悟（日本漢方交流会／広島漢方研究所）
 丁 宗鐵（日本薬科大学）

ワークショップ3 [地域に活かせる東洋医学の実践]

座長：岡部竜吾（伊那市国保美和診療所）、
 村松慎一（自治医科大学 地域医療学センター東洋医学部門）
 演者：吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）
 嶋本純也（愛南町国保一本松病院附属内海診療所）
 今藤誠俊（尼崎医療生協病院）
 竹本嘉典（タケモトクリニック）

ワークショップ4 [東洋医学と基礎医学との関わり]

座長：久光正（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）、松田和也（松田内科医院）
 演者：砂川正隆（昭和大学医学部 生理学講座生体防御学部門）
 石川慎太郎（昭和大学医学部 生理学講座生体防御学部門）
 内田さえ（東京都健康長寿医療センター研究所 自律神経機能研究室）
 原田康平（健中堂 原田・東邦クリニック）
 篠原明德（明德漢方内科）

ワークショップ5 [医学教育における漢方・東洋医学を次世代にどのように伝えるか]

座長：高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）
 小林直人（愛媛大学医学部 社会・健康領域医学教育学講座）
 演者：高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）
 田中耕一郎（東邦大学医学部 東洋医学研究室）
 間宮敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）
 飯塚徳男（山口大学医学部附属病院 漢方診療部）
 小林直人（愛媛大学医学部 社会・健康領域医学教育学講座）

国際伝統医学ライブ：（日独共演）

座長：加島雅之（熊本赤十字病院 内科）
 小川恵子（金沢大学附属病院 漢方医学科）
 演者：Carl-Hermann Hempen(Societas Medicinae Sinensis)
 三瀧忠道（福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座）
 小田口浩（北里大学東洋医学会研究所）

医師のための鍼灸セミナー①入門編：初めての鍼灸

演者：山口大輔（朝日医療大学校 鍼灸学科）

医師のための鍼灸セミナー②経絡経穴学入門

演者：丸山影貞（宝塚医療大学 保健医療学部 鍼灸学科）

医師のための鍼灸セミナー③鍼灸の臨床

演者：井上基浩（明治国際医療大学 臨床鍼灸学）
 演者：大麻陽子（学校法人大麻学園四国医療専門学校）
 演者：大網直人（学校法人大麻学園四国医療専門学校附属鍼灸治療院）

医師のための鍼灸セミナー④鍼灸の弁証論治

演者：村井 和（一般社団法人北辰会）
 演者：藤本新風（藤本玄珠堂／一般社団法人北辰会）

漢方薬剤師セミナー：

座長：篠原明美（一般社団法人徳島県薬剤師会）
 演者：森 理保（徳島市民病院 薬剤部）
 伊藤三恵（社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院 漢方・生薬認定薬剤師）
 西畑友尋（愛媛県立今治病院 薬剤部）
 安西英明（安西番町薬局）
 篠原明美（一般社団法人徳島県薬剤師会）

市民公開講座：**1) 市民のためのシンポジウム [自然の子カラで美しく健康に一心と体に効く漢方]**

座長：野萱純子（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 女性漢方外来）

演者：塩田敦子（香川県立保健医療大学 看護学科）

木村容子（東京女子医科大学東洋医学研究所）

2) 三者対談：[映画と歩んで50年]

座長：梅津 龍太郎（ラジオキャスター・プロデューサー）

対談 山田洋次（映画監督）

梅津 龍太郎（ラジオキャスター・プロデューサー）

岩瀬弥永子（ラジオパーソナリティ）

当院松浦一平理事長の多大なご支援、野萱純子先生のご協力に感謝致します。

竹川 佳宏（放射線治療センター）

第67回日本東洋医学会学術総会
市民公開講座

参加費無料
定員**800**名
(先着順)
※事前受付はございません

日時 2016年6月5日(日) 開演14:00(開場13:30)
会場 サポートホール高松 3F 大ホール

第1部
自然の子カラで美しく健康に
-心と体に効く漢方
座長 野萱 純子 先生(社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院 女性漢方外来)
[その不調、漢方にてできることがあります!]
演者 塩田 敦子 先生(香川県立保健医療大学 看護学科)
[漢方の知恵でポジティブ・エイジング]
演者 木村 容子 先生(東京女子医科大学東洋医学研究所)

第2部
映画と歩んで50年
三者対談
山田 洋次 氏
(映画監督)
梅津 龍太郎 氏
(ラジオキャスター・プロデューサー)
岩瀬 弥永子 氏
(ラジオパーソナリティ)

主催：一般社団法人日本東洋医学会
日本漢方生薬製剤協会
後援：香川県、高松市、香川県医師会、高松市医師会、
徳島県医師会、愛媛県医師会、高知県医師会、四国新聞社

問い合わせ先：第67回日本東洋医学会学術総会 運営事務局
株式会社メッド 〒701-0114 岡山県倉敷市北島1075-3 TEL:086-463-5344 E-mail: jpm67@meo-gakkai.org

山の話 (43)

鎌田壽夫

▼ 比叡山(八四三m) その四 ▲

最澄が唐で勉強しようと思った頃、ちょうど遣唐使が派遣されることが決まり、一行に加わることを許されました。三十八才の時です。ところで、遣隋使とか遣唐使という言葉はすでにご存じのことと思いますが、ちよつとおさらいします。

中国大陆には黄河の流域を中心にして、紀元前の時代から文明が発達していましたね。

その文明が、遠く離れた島である日本列島に届くには時間がかかりました。都会で朝刷られた新聞が、田舎に届くのは翌日になるようなものです。

少しでも早く、中国の技術や制度を学ぶのに、そこまで行くのが手っ取り早い。ですから、聖徳太子は六〇七年に、長安に向けて遣隋使を国の仕事として初めて送り出しました。最澄の時代はすでにそれから二百年もたつていましたが、いまだに文明力の差は歴然としていました。それで、遣唐使を送ることを続けていたのです。

遣唐使はおよそ二十年ごとに派遣されていま

した。遣唐使船に乗ったのは、外交官、技術や法制度を学ぶための学生、そして船員です。最澄は宗教を学ぶ学生として一団に加えてもらいました。

船団は、大阪の難波津(いまの大阪市)を出港して瀬戸内海を西に進み、九州の大宰府に寄ります。五島列島を出てからは、島ひとつない東シナ海を渡らなければなりません。目指すのは、長江(揚子江)の河口・明州(いまの寧波市)です(図)。

一隻の船におよそ百五十人が乗り、四隻で航海しました。うまくいけば、およそ七日で海を渡り切つて中国大陆に着いたようですが、そのころの船の構造とか航海技術では、そんなことはまれでした。予定地から遠く離れたベトナムあたりまで流された船もあり、陸に着いたらまじなほうで、難破して行方不明になった船は四分の一くらいあったということです。

船と船員は現地にとどまり、一年後に長安から戻ってくる使節団を乗せて、今度は日本に向けて海を渡るのです。行きも帰りも命がけの航海でした。

延暦二十三年(八〇四年)七月、船団は五島列島を出帆しました。しかし例によって、嵐にあつて四隻の船はてんでバラバラになってしまいました。さいわい最澄と通訳の義真の乗った

船だけは無事目的地に着くことができました。

外交官一行は長安に向けて北に出発しましたが、最澄は天台宗の総本山・天台山のある南に向かいました。おもしろいことに、宗教にも、はやりすたりがあるらしく、最澄の求めた天台宗はそのころすでに古い宗教ということになっていました。中国のお坊さんは、なんで衰えつつある天台宗を学びに、わざわざ日本からきたのかと、不思議におもつたそうです。それでも、とにかく最澄は初心を貫きました。

そして偶然にも、そのころはやはりだした密教もかじる機会があつたのです。実は、天台宗と密教との間には、相いれない違いがあるのです。最澄が密教にまで手を伸ばしたのはなぜか?このことで、最澄が帰国したあとで、有名な空海との間で起こつた確執がおきるので、つづく



図、その当時の遣唐使の経路